

高等学校地歴公民科（世界史 B）学習指導案

指導教諭 先生 印
教育実習生 印

1. 日 時 平成 29 年 6 月 15 日（木）6 限目 14 時 10 分～15 時 00 分（50 分）
2. 学 級 高等学校 第 2 学年 3、4 組（男子 3 人、女子 10 人、計 13 人）
3. 単 元 名 中国の古典文明
4. 使用教科書 山川出版社『詳説世界史 B』 アジア・アメリカの古代文明 p 65～74

5. 生徒観

世界史が好きな生徒が多く、授業への集中力が高い。何人かの生徒は、発問の投げかけに率先的に答えてくれる。隣の人やグループなどの活動に積極的に取り組むことができる。

6. 教材観

本単元では、悠久の中国史の始まりを学ぶ。中国はわが国と古くから交流があった国であり、現在も深い関係がある。漢字や儒教的な価値観など、日本の文化は中国から多大な影響を受けている。それだけでなく、古代日本の政治体制や都城形成はほぼ中国から取り入れられたものである。膨大な人口と多様な民族構成をもつ中国の原点はどんなものかを学ぶことは日本の歴史や文化の原点を学ぶことにつながると考えている。

7. 指導観

講義を中心に行うが、王朝の都の場所や範囲などは白地図に記入するなどの作業を行う。また、中学校の歴史で習ったことを思い出させて本時の授業と絡ませる。さらに、資料集などの写真を見せて、関心やイメージを持たせる。最後に本時のまとめとして時代を図示させる問題を出し、思考力と表現力を培う。

8. 単元の目標

- ・黄河文明から秦の統一までの期間について、政治や社会の変化について概要を理解する。（知識・理解）
- ・学んだ内容について、模式図や地図、文章等で適切に表現する。（思考・判断・表現）
- ・関心を持って隣国である中国の歴史を学び、講座内での対話を通して理解を深めようとしている。（関心・意欲・態度）

9. 指導計画（6時間）

配当時間

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 東アジアの風土と人々／中国文明の発生 | 1 |
| (2) 初期王朝の形成／春秋・戦国時代 | 1（本時） |
| (3) 社会変動と思想 | 1 |
| (4) 秦の統一／漢代の政治 | 2 |
| (5) 漢代の社会と文化／秦・漢帝国と世界 | 1 |

10. 本時の目標

- ・殷と周の統治体制と国家の性格の違いを理解する。（知識・理解）
- ・変革期である春秋・戦国時代の特徴について理解する。（知識・理解）
- ・それぞれの時代の概要と変遷の経緯を理解し、適切な方法で図示する。（思考・表現）
- ・わが国と交流の深い中国史の原点を理解するために積極的に学習に取り組む。（関心・意欲・態度）

11. 本時の授業展開

過程	学習内容	指導内容・生徒の学習活動	指導上の留意点／評価の観点
導入	<p>前回の復習 前回のプリントの内容 (5分)</p>	<p>遺跡から見られる特徴を、本時の授業とつなげるように説明する</p> <p>→ 巨大な墓は王に似た存在が当時からいた可能性</p> <p>中学校に習った日本の歴史で、古墳時代に古墳の大きさが権力の大きさを表していたということを思い出させる</p>	<p>前回のプリントを持っていない生徒がいる場合は配る</p>

展	殷王朝	<p>「邑」の漢字の訓読みを生徒に聞いてみる → 訓読 むら</p> <p>小さな邑の連合体として一つの大きな邑となったのが、殷であることを説明する</p>	
	殷の統治体制	<p>甲骨文字を用いて、祭政一致の神権政治を行っていた</p>	<p>殷墟の「墟」の字が間違い易いため黒板に書く</p> <p>殷墟の場所を白地図に記入する</p>
開	周王朝	<p>易姓革命を「易姓」と「革命」の漢字の意味に注意しながら説明する</p> <p>→ 「姓が易(か)わる」、「天の命(めい)が革(あらた)まる」 姓は王朝のこと 天の命は天帝からの命令のこと</p>	<p>渭水の場所を前回のプリントの白地図で確認する</p> <p>渭水は黄河の支流であることをおさえる</p>
	周の統治制度	<p>封建制度を図で説明する</p> <p>そのときに、プリントの空欄を埋めながら図を作成する</p> <p>一般に言われる封建制との違いを説明する</p> <p>→ 日本の封建制は、鎌倉時代の武士など親族とは関係のないつながりであった</p> <p>しかし、周の封建制は親族の中でのつながりであった</p>	

<p>東周 春秋時代</p>	<p>「尊王攘夷」を中学校の歴史の授業で何時代に聞いたことがあるかを生徒に聞く 日本の江戸末期での「尊王攘夷」というスローガンの源流はここから来ている</p>	<p>鎬京の場所を白地図に記入する 現在の呼び名も → 西安付近</p>
<p>春秋の五覇</p>	<p>「尊王攘夷」のここでの意味を説明する → ここでの王は周王のこと 夷は異民族のこと</p>	<p>斉の桓公と晋の文公を強調</p>
<p>封建制度の崩壊</p>	<p>春秋時代から戦国時代に移った背景で、なぜ血縁・氏族関係がうすれ、封建制度が崩壊したのかについて説明する → 例えば、自分の代から五代離れた親族は、おそらく顔を見たことがなくなりが弱い → 血縁・氏族関係よりも力のある覇者が統治する</p>	<p>洛邑の場所を白地図に記入する 現在の呼び名も → 洛陽</p>
<p>戦国時代 戦国の七雄</p>	<p>戦国の七雄の中でも、特に秦が力を持っていたことを強調する</p>	<p>戦国の七雄の場所を、プリントの白地図に書く作業をする</p>
<p>商工業の発達</p>	<p>青銅貨幣の種類を資料集の96ページで確認して、特に布銭を強調して、プリントの()に記入する そのとき布銭の形は、この当時の布は麻で作られていて、麻の栽培で畑を耕すときに使</p>	<p>戦国の七雄の場所を書いてもらった白地図に、青銅貨幣のそれぞれの種類ごとに主にどこで使われていたのか黒板で記す</p>

		<p>われていた鍬の形から来ているということを説明する</p> <p>塩や鉄（特に鉄）はこの時代の重要な物資であった。詳しくは次の授業で行うことの予告をする</p>	
ま と め	授業のまとめ (5分)	今日の授業の内容でやった周の時代の時代区分を図示させる	

12 本時の反省

13 ご高評